

Ekahau AI Pro Online

Sidekick 2 の優れた性能と精度を使用して、収集したサーベイデータに基づいて AI 環境を構築したり、フロアプランを起点としてゼロからネットワーク計画を策定することが可能です。どのようなアプローチであっても、パワフルな AI ツールを最大限に活用し、ネットワークのライフサイクル全体を通じて Wi-Fi 設定を最適化することができます。



Wi-Fi ネットワークのアップグレード計画を簡単に作成

Sidekick 2 で作成したサーベイファイルと AI Pro Online があれば、ネットワークのアップグレードの計画時、従来のように壁や障害物を手動で描画する作業が不要になりました。サーベイのプロジェクトファイルを AI Pro Online にインポートするだけで、高度な AI が Sidekick 2 の超高精度データに基づき、ワイヤレス信号の伝搬環境を生成します。アクセスポイントの移動、追加、設定変更などのネットワークへの変更をシミュレーションし、ネットワークパフォーマンスに与える影響を即座に確認することができます。

新しいネットワーク設計を作成する

AI Pro Online を使えば、新しいネットワーク設計の作成も非常に簡単になります。Sidekick 2 のデータに含まれるサーベイプロジェクトファイルを AI Pro Online にインポートし、既存の AP を計画から削除するだけで、新しいネットワーク設計をゼロから開始できます。測定データに基づいて、物理空間におけるワイヤレス信号伝搬をシミュレーションするという複雑な処理を Ekahau の AI 環境が代行するため、ユーザーは次世代の設計改善に集中できるようになります。

従来の予測設計や、サーベイデータのないネットワーク設計の場合も、フロアプランをインポートするだけで、自動壁検出機能が壁の描画を迅速に行います。そのあと要件エリアを設定し、AP を配置するだけで、通常通りにネットワークのパフォーマンスをシミュレーションできます。

テクノロジーのアップグレードをシミュレートする

既存のシステムや設備を完全に撤去して新しいものに総入れ替えする（リプレイス）ケースのシミュレーションは非常に簡単です。Sidekick 2 データを含むサーベイプロジェクトを AI Pro Online にインポートし、リプレイスしたい AP を選択して、豊富な AP ライブラリから適切なモデルを選ぶだけです。これは、高価なハードウェアへの投資や新たなケーブル敷設を行う前に、トライバンド（2.4/5/6 GHz）対応の新しい AP モデルを導入した場合、ネットワークにどのような効果や影響を与えるかを可視化するのに最適な方法です。

主な特長

- Sidekick 2 のサーベイデータまたはインポートしたフロアプランに基づく、2.4GHz/5GHz/6GHz ネットワークの Wi-Fi プランニング
- 物理的空間をデジタル上で再現する独自の AI 環境生成ロジックにより、壁や減衰オブジェクトの描画といった面倒な手作業での物理環境の定義が一切不要
- ネットワークの計画から最適化までのプロセスをすべてシステムが自動で行う機能
- 高速で正確なヒートマップを使い、カバレッジ、セカンダリ・カバレッジ、チャネル干渉の問題を特定
- サーベイデータに基づく Wi-Fi ネットワークのアップグレード設計
- 壁の自動検出およびフロアアライメント
- サーベイデータに基づく既存設備の全面入れ替え（リプレイス）シミュレーション
- 豊富な AP ライブラリとアンテナパターンを 3D で立体的に表示
- 移動または撤去された測定済み AP をリセットし、さまざまなネットワーク改善オプションを試行
- 要件エリアごとに設定可能な、推奨およびカスタムのネットワーク要件を設定
- 設計した要件の達成率（合格率）を迅速・簡単に読み取れる見やすいインジケーター
- 作成したネットワークプランを共有・配布するためのワンクリックレポート機能

手軽に使える強力な AI ツールを活用しましょう

AI Pro Online には、ネットワーク設計プロセスを迅速化する多数の強力なツールが搭載されています。これらのツールには、アクセスポイントの配置と設定を自動的行う「AI Auto-Planner」、AP のワイヤレスごとに最適なチャネルプランを自動的に見つけ出す「自動チャネル設定」、カバレッジの問題を解決するために最適な AP の設置位置をハイライト表示する「アシストプランニング」などが含まれます。フロアプランをインポートしてネットワーク設計を始める場合、自動壁検出、自動エリア検出、自動フロアアライメントなどの機能を使うことで、設計プロセスを大幅にスピードアップすることができます。

主なツールと機能

- Sidekick 2 からのサーベイデータを含む Ekahau クラウドプロジェクトをインポート
- AP および要件エリアのポイントを選択・移動
- ネットワーク要件エリアまたは除外エリアの設定
- 推奨された要件から選択するか、独自のネットワーク要件を作成
- Ekahau の豊富な AP ライブラリから AP モデルを選択し配置
- 壁の自動検出
- 自動エリア検出
- 自動フロア補正
- 自動チャネル計画オプション
- 最適な AP 配置場所を提示する計画支援オプション
- AP の配置と設定を完全に自動化する AI Auto-Planner
- 移動または削除された測定済み AP をリセット
- フロアごとの要件達成率の表示
- ネットワーク分析用のヒートマップの選択
- 周囲の環境の 3D モデリング
- 3D アンテナパターンのオーバービュー
- マップのトリミングと回転
- グレースケール機能を使って、地図の背景色を削除
- ワンクリックでのレポート生成
- 部品表 (BoM) の作成
- 測定単位や UI テーマ選択などのユーザー設定
- 規制ドメイン選択とネットワークパラメーターのプロジェクト設定

AI環境

- SAI Pro Online における AI 環境：Ekahau 独自の機械学習アルゴリズムに基づき、サーベイプロジェクトにおいて Sidekick 2 の測定データとフロアプラン情報を活用して自動的に生成される信号伝搬モデルを指します。この AI 環境により、壁や減衰要因となる物体、その他の環境プロパティを個別に定義する必要がなくなり、ネットワーク設計の変更をシミュレーションしたり、まったく新しいネットワーク設計を作成したりするための基盤を提供します。

ヒートマップ

- 信号強度
- セカンダリ信号強度
- S/N 比 (SNR：信号対雑音比)
- チャネル干渉
- ドミナント AP (主要 AP)

アクセスポイントの設定変更

- 設置方法・場所および向き
- チャネル設定
- TX 電力レベル
- ワイヤレスの on/off
- 帯域幅の選択
- アンテナの選択
- ネットワーク / 帯域の選択

プロジェクト設定

- 規制ドメインの選択
- 帯域ごとの許可チャネル範囲に関するネットワーク設定
- 選択したプロジェクトのレポート作成

ユーザー設定

- 測定単位の選択 (mW/dBm、メートル / フィート)
- UI テーマの選択 (ダーク / ライト)

プロジェクト形式

- AI Pro Online は、実測データを含む従来の Ekahau プロジェクトファイルを基に作成される新しいプロジェクトフォーマットを採用しています。この新しいプロジェクトファイルは、ユーザーが Ekahau Cloud から AI Pro Online へサーベイプロジェクトファイルをインポートした際、またはアプリケーション内で新規プロジェクトを開始した際に作成されます。

連携

- AI Pro Online は Ekahau Cloud に統合されています。

システムおよびソリューション要件

- 推奨ブラウザ：Chrome または Edge
- Ekahau Sidekick 2 が必要
- 有効な Ekahau サブスクリプション
- プロセッサ：1.5GHz 以上 (マルチコア推奨)
- RAM：8GB 以上 (16GB 以上推奨)

※ 本カタログの著作権はOokla LLC.に帰属いたします。

※ 本カタログの日本語訳はアイ・ピー・エス・ジャパン株式会社が行っております。

※ 記事内容 (日本語翻訳分) についての著作権はOokla LLC.ならびにアイ・ピー・エス・ジャパン株式会社に帰属します

※ すべての仕様および写真は予告なく変更される場合がございます。

Copyright © 2006-2026 Ookla, LLC., an Accenture company. All Rights Reserved.

ekahau[®]
By Accenture